

令和 7 年度 オホーツク海外海放流ホタテガイ貝柱歩留不良予報 (早期予報試行版) *

概況

4 月の 4 つの観測値のうち、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコーゲン濃度、最大クロロフィル濃度の 3 項目が「不良」で、貝柱歩留不良の発生確率は短期（6～7 月）、長期（6～10 月）ともに、高いと予想されます。

海域：オホーツク総合振興局管内海域

レベル：Ⅲ

予報期間：令和 7 年（2025 年）6～7 月（短期）

発生確率：0.857～0.917

予報期間：令和 7 年（2025 年）6～10 月（長期）

発生確率：0.786～0.833

警戒レベル	意味
I	発生確率が短期では低く、長期ではかなり低い
II	発生確率がやや高く、注意が必要
III	発生確率が高く、警戒が必要

注：貝柱歩留不良予報は、4 月の 4 つの観測値、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコーゲン濃度、最大クロロフィル濃度、最大海水温差（最高水温－最低水温）から、6、7 月の短期と、6～10 月の長期の貝柱歩留不良を統計的確率モデルで予測しています。

* この予報は、北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究「ホタテガイ成長モニタリング調査」結果によるものです。